

浜松運輸区分会情報

発行責任者 山本繁明 2024年8月14日 No.1 JR東海労浜松運輸区分会

第34回定期大会開催

あらゆる戦争政策に反対！

保守用車衝突・「ワンマン運転」安全に問題！



分会は、8月9日第34回定期大会を開催しました。OBも参加し現役を激励してくれました。あいさつに立った山本分会长は「JR総連が統制委員会を設置した。分会は本部大会の決定に基づいて進めてきている。315系車両を使ったワンマン運転が浜松から豊橋間で令和10年から予定されている。安全問題がある。新幹線保守用車の衝突は在来線の列車の両数を増やし、作業変更があり運転してきた。不測の事態である。問題点を上げていく。与那国島や石垣島に自衛隊のミサイル基地等が住民無視で進められているドキュメンタリー映画『戦雲』の鑑賞会した。戦争政策に

反対し、平和の取り組みしていこう」と述べました。

袴田さんのズボンの「B」はB体ではなく色の文字だった！

来賓で見えられた袴田巖さんを救う市民の会の寺澤共同代表は、9月26日が判決、支援をお願いしたい。袴田さんが法廷で履けなかった犯行時着用していたとされるズボンの「B」文字はB体ではなく色の文字、「B体だからはけるはず」との検察の主張は誤りであり証拠の捏造だと袴田さんは無実であると主張しました。

長崎原爆投下の日式典にイスラエルは参加させない！

増田OB会長は「今日は長崎原爆投下の日、パレスチナガザ地区は4万人の人が殺されている。ハマスを攻撃していると言うが子供が犠牲となっている。アメリカはイスラエルを支援している。イスラエルに反対する議員落としをやっている。酷いこと」平和な社会をつくろうと訴えました。

第一線で正確な列車を動かしているのは我われ労働者だ！

また、参加者からは「岸田首相が、自衛隊を憲法9条に盛り込み改憲すると言っている。**一人ひとりが労働者の意識を持たないと戦争が始まる**。こういう憲法改正には国民投票で『×』を付けよう」「運転士は、何分何秒で運転をしている。一人ひとりが世界に誇れる正確なダイヤを動かしいるという自覚をもっと持とう。なんでも上から言われたことで動く人が多くなって、JR東海労を脱退し管理者になっていった。組織破壊がおこなわれ労働条件も厳しくなった」

労働条件改善！扶助・共助の助け合いの社会をめざす！

山本委員長は、「職場の労働条件を協約・協定交渉や地本の申し入れで改善を求めていく。社会は高齢化している。高齢化社会のなかで、扶助・共助の助け合いの精神を持っていこう。袴田さんの無罪を求める署名活動を含め、支援の取り組みを最大限していく。冤罪撲滅の取り組みを広めていこう」と団結ガンバローで大会を締めました。

